

ねん ど だ い かい こ う べ し が い こ く じ ん し み ん かい ぎ
2022年度 第1回「神戸市外国人市民会議」

に ち じ ね ん が つ に ち げ つ
日時：2022年7月25日（月）15:30～

ば し ょ こ う べ こ く さい こ み ゅ に て い せ ん た ー 1 かい
場所：神戸国際コミュニティーセンター1階
こう り ゅ う す べ ー す
交流スペース

し だ い
次 第

1. かい かい
開 会

2. ぎ じ
議 事

(1) DX による多文化共生の推進

し り ょ う
資料1

(2) 「集まる場所」の充実

し り ょ う
資料2

(3) 外国人児童の学習支援・進学支援

し り ょ う
資料3

3. そのた
その他

4. へい かい
閉 会

神戸市外国人市民会議 委員名簿 (2022年度)

(外国人コミュニティ関係団体の代表)

在日本大韓民国民団兵庫県地方本部事務局長	きむ さん よん 金 相 英	
学校法人兵庫朝鮮学園理事長	きむ そつ きよ 金 錫 孝	(欠席)
神戸華僑総会事務局長	せき ほう 石 鋒	
一般財団法人神戸万国医療財団理事長	れおん はーと F. E. レオンハート	(欠席)
マサヤンタハナン副代表	ずおん ごっく だいえっぷ ズオン ゴック ディエップ	(ZOOM)
在日本印度商業会議所	かわぐち ふろーら 川口 フローラ	
関西ブラジル人コミュニティCBK理事長	にしゃっと とらぼりー ニシャット トラバリー	(ZOOM)
ひょうごラテンコミュニティ代表	まつばら まりな 松原 マリナ	(ZOOM)
神戸大学国際文化学研究科博士課程	おおしろ ろくさな 大城 ロクサナ	
神戸大学国際文化学研究科博士課程	こう はくろう 黄 柏瀧	
(学識経験者)		
兵庫県立大学環境人間学部教授	いぬい みき 乾 美紀	
神戸大学理事・副学長 (大学改革・デジタル化・評価担当)	なかむら たもつ 中村 保	(欠席)

オンラインプラットフォーム（例）

■ Decidim（デシディム）

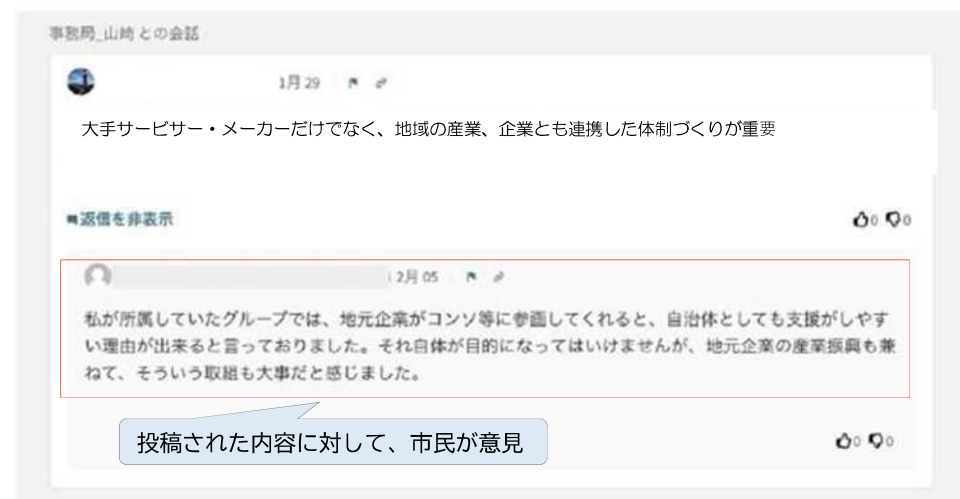
- ・オンライン上で、様々な意見を投稿することができるツール(オープンソース)
- ・海外では30を超える自治体で利用（バルセロナなど）。日本では、加古川市が初めて導入（2020年）。以来、兵庫県のプロジェクトなどでも活用



オンラインプラットフォーム（例）

■ Decidimの特徴

- ・ **オンラインとオフラインを融合させた熟議**のためのプラットフォーム
- ・ オフラインでのやりとりを共有し、集約することで、**透明性の向上**を実現
- ・ 情報共有により意思決定を進める**プロセス設計**
- ・ 言い合いではなく、**積み重ねる議論**を可能とするユーザーインターフェース
- ・ **議論やデータが可視化**されるため、納得解が得やすい

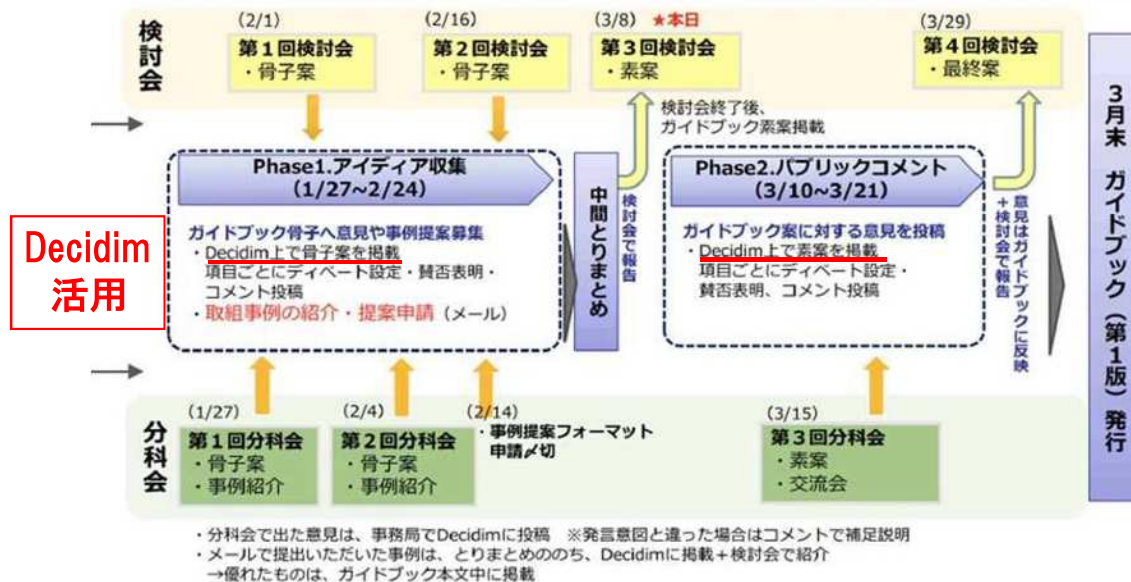


国内事例（国）

- スマートシティガイドブック策定での活用
市民からのニーズ提案、政策提案も含め、双方向型で市民の積極的な参加を促進

ガイドブック策定の進め方

- 2つのPhase（アイデア収集（1-2月）、パブコメ（3月））を経て3月末に第1版発行
- 骨子案・本文案はDecidim上で共有し、検討会・分科会メンバーからコメント投稿



1. アイデア募集フェーズ



2. ブラッシュアップフェーズ



国内事例（加古川市）

■ スマートシティ構想策定に利用（試行運用）

- 3ジャンル、17項目について意見聴取
- 3月のスマートシティ構想公表に向けて、3つのフェーズを活用
 - ・ アイデア収集フェーズ（スマートシティ構想の各目標における概要に対して、意見・アイデアを収集）
 - ・ 意見収集フェーズ（アイデア収集フェーズにおいて出てきた意見を参考に作成したスマートシティ構想案について意見を収集）
 - ・ パブリックコメント（1月～2月）



DXによる^{たぶんかきょうせい}多文化共生^{すいしん}の推進

① ^{おんらいんいけんこうぼがらつとふおーむ}オンライン意見公募プラットフォーム

○ ^{たぶんかきょうせいぶんや}多文化共生分野^{かつよう}での活用

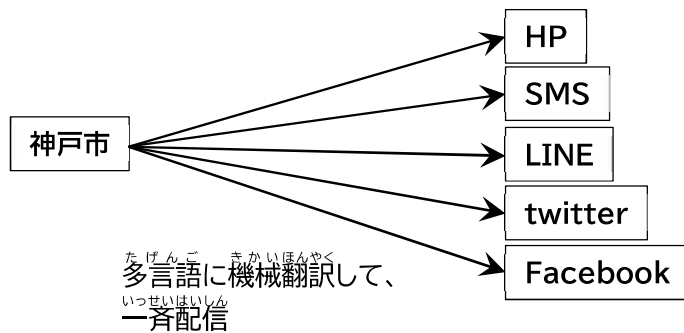
- ^{たぶんかきょうせいしさく}多文化共生施策^{かんするーむ}に関するルーム(やさしい^{にほんご}日本語^{えいご}、英語^{かんこく・ちようせんご}・韓国^{ちゆうごくご}・朝鮮語^{べとなむご}、中国語^{ベトナム語})を設置し、^{せっち}外国人^{がいこくじんじゅうみん}住民にも^{ひろくしゅうち}広く周知
- ^{とうこう}投稿された^{いけん}意見を^{こうべし}神戸市の^{かんれんぶしよ}関連部署と^{きょうゆう}共有し、^{ふいーどぼっく}フィードバック
- ^{がらつとふおーむ}プラットフォームでの^{ぎろん}議論を^{たぶんかきょうせいしさく}多文化共生施策^{はんえい}に反映

○ ^{かだい}課題

- ^{とうろく}登録してもらうための^{どうきづけ}動機付け
- ^{かんしん}関心を持ってもらうための^{てーま}テーマ設定(例:KICCの^{拠点}拠点活用)

② ^{たげんご}多言語による^{さいがいじょうほう}災害情報の^{ぶっしゅがたはいしん}プッシュ型配信

○ ^{しすてむいめーじ}システムイメージ



○ ^{しすてむ}システムをより^{こうかてき}効果的なものにするための^{とりくみ}取り組み

- ^{がいこくじんじゅうみん}外国人住民になじみの^{ふかいばいたい}深い媒体や、^{たいおうげんご}対応言語の^{ニーズ}ニーズに関する^{あんけーとちようさ}アンケート調査
- ^{みんかんじぎょうしゃ}民間事業者と^{れんけい}連携して、^{こうべし}神戸市・^{ぼうさい}防災に関する^{かんするようご}用語を^{がくしゅう}学習させ、^{きかいほんやく}機械翻訳の^{しつ}質を^{こうじょう}向上

○ ^{かだい}課題

- ^{とうろく}登録してもらうための^{どうきづけ}動機付け
- ^{ごやく}誤訳が^{はっせい}発生する^{りすく}リスク

～神戸国際コミュニティセンター(KICC)
の拠点を活用した集まる場所の充実～



神戸国際コミュニティセンターの業務内容



【国際交流・多文化共生事業】

- ・ 情報提供
- ・ 相談、通訳・翻訳
- ・ 地域日本語教育体制整備事業

【留学生支援】

- ・ 神戸市留学生奨学金の運営

【国際協力】

- ・ JICA草の根技術協力事業
- ・ JICA国内研修受託事業

【海外事務所の運営】

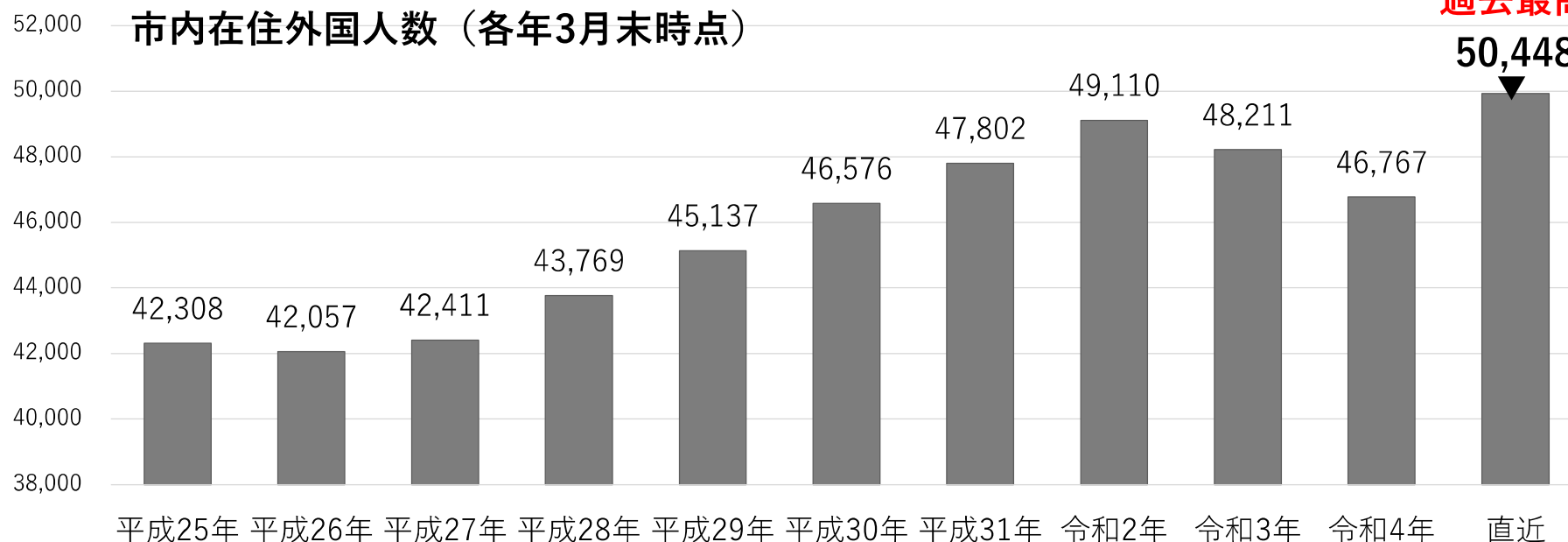
- ・ 天津経済貿易・上海経済港湾連絡事務所



神戸市を取り巻く状況

KICC

過去最高



市内企業の人手不足や入管法改正により外国人労働者の増加が見込まれる

支援ニーズの増大

- ・ 在住外国人や支援団体への必要な情報の伝達
- ・ 日本人と外国人のコミュニケーション
- ・ 日本人住民と外国人住民の間の地域レベルの交流

KICCの拠点再編（令和3年10月）

区	外国人数
東灘区	6,406
灘区	4,397
中央区	13,118
兵庫区	6,885
長田区	7,449
北区	2,584
須磨区	3,506
垂水区	2,788
西区	3,315

- ・ 東灘～長田区間に
在住外国人の3 / 4が居住
- ・ 長田区に外国人支援団体が多い



本部を長田区に移転／支援拠点を新設(中央区・東灘区)

K I C C本部の移転（三宮⇒新長田）



交流スペース 【1階】：10月16日(土) 開設／ 平日10時~20時・土日10時~18時
相談・国際協力等 【4階】：10月4日(月) 開設／ 平日10時~17時

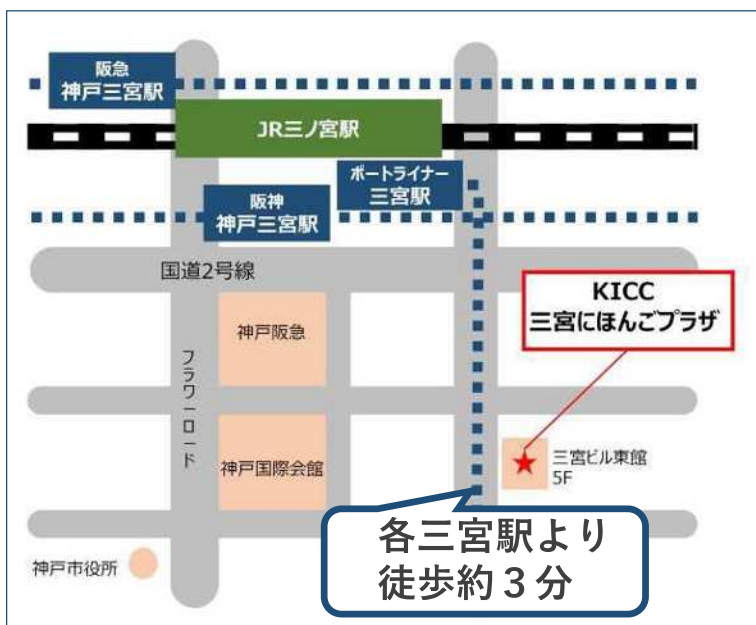
新たに設置した支援拠点（三宮・御影）



三宮にほんごプラザ

住所 中央区御幸通 6丁目 1番 12号
三宮ビル東館 5階

開設日 10月5日(火曜)



開館時間：平日 10時～20時
土曜 10時～18時

御影にほんごプラザ

住所 東灘区御影本町 6丁目 15番 22号
御影市場「旨水館」内

開設日 10月12日(火曜)



開館時間：平日 10時～20時
土日 10時～18時

新たに整備したKICCの拠点

新長田交流スペース



三宮にほんごプラザ



御影にほんごプラザ

新長田交流スペース(約200m²)

KICC

Wi-Fi/充電スポット/メッ
セージボード/図書コーナー/
雑誌コーナー/祈祷室/会議室



拠点を活用した集まる場所の充実（案）

現 状

日本語学習、国際交流・多文化共生事業の推進

【主な取り組み】

- ・ 初級者向け日本語クラスの開催
（令和3年度実績：529人）
- ・ ボランティアによる
日本語マンツーマンレッスン
（R4.7現在：約120組）
- ・ 留学生による自国の紹介や
多言語でおしゃべりするイベント
（R4年度：77回開催予定）
- ・ 外国にルーツのある子どもの学習支援
など、大学・在住外国人支援団体と
連携した事業

方 向 性

さらに、ふらっと立ち寄れる居場所づくり

- ・ 多言語図書の実充及び
外国語による読み聞かせイベントの実施
- ・ 日本文化体験（けん玉etc..）
の拡充
- ・ 既存事業を活用したサークル
活動と場所の提供

英語でおしゃべり



キッズ国際ひろば



国際交流イベント



「外国人児童生徒が就学することになったら」

～神戸市の外国人児童生徒へのサポートシステム～

令和4年4月 学校教育課

保護者・区役所から就学に関する連絡・相談

学校教育課

こども日本語サポートひろば TEL371-8300

<学校より>

①児童生徒受入相談

- ・子ども多文化共生サポーター、ランゲージ支援員派遣依頼
- ・日本語レベルチェック (DLA、シェアリングシート)
- ・特別の教育課程 (個別の指導計画作成等) 指導助言
- ・訪問日本語指導員派遣依頼

②ランゲージコーディネーター派遣依頼

③日本語指導に関する相談・研修推進など

- ・日本語学習デジタルコンテンツの活用

校内体制づくり

- ①組織作り
- ②受入準備
- ③面談準備
- ④特別の教育課程編成など

相談

申請

児童生徒と保護者との面談実施
(日本語指導が必要な児童生徒等の受け入れマニュアル)

- ・国籍・在留期間の確認
- ・家庭環境 (母語での学習履歴等)
- ・学校生活の説明等

母語による支援

子ども多文化共生サポーター

(来日0ヶ月～3年未満) 小・中学生のみ

ランゲージ支援員

小・中学生 (3年以上) 幼・高

- ①初期生活適応支援
- ②教科学習の補助
- ③保護者への支援

派遣

ランゲージコーディネーター

<母語による通訳・翻訳・教育相談>

中国語 ベトナム語

派遣

日本語指導員 (日本語による日本語指導)

- ・特別の教育課程を実施する学校への支援
- ・学校への訪問指導・助言
- ・オンラインによる日本語指導

派遣

日本語指導支援センター校
小学校7校

各校が児童生徒のレベルに
応じた日本語指導を進める

小学校 JSL 教室 7校
中学校 JSL 教室 3校



中学校 JSL 教室 概要

(Japanese as a Second Language)

・対象者

日本語を母語としない神戸市立中学校に通学する中学生で、本人が希望し、学習意欲のある生徒

・設置校

設置校	神戸生田中学校	太山寺中学校	小部中学校
住所	中央区北長狭通4丁目 10-1	西区学園東町2丁目2	北区山田町小部字向井谷 23-1
対象区	東灘区、灘区、中央区、兵庫区、長田区、須磨区	垂水区、西区	北区

・学習時間

月曜日～金曜日 15:30～17:00 ※土日祝、夏季・冬季・春季休業中はなし

・学習形態

- ・「初級クラス」と「移行期クラス」の2つのグループ学習
- ・毎回、各学習者の指導記録をつけ、前後の担当者間で引き継ぎを適切に行う。

(1) 初級クラス

対象者 新渡日～生活言語が十分でない中学生（入室前に仮名学習を終了していることが原則）

- ・0 初級以外はレベル診断を実施する（神戸大学附属住吉校国際センター作成「日本語基礎レベル診断カード」にてレベル4までが初級クラスとなる）。
- ・仮名学習を終了していない場合、仮名学習教材での自宅学習（1カ月程度）を設ける。

目 標 4技能「話す」「聞く」「読む」「書く」の基礎を学ぶ。

期 間 月～金曜日の毎日 2～6カ月間

主な使用教材：「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」、「各国語版翻訳・文法解説」、「書いて覚える文型練習帳」、「漢字英語版」、「漢字カードブック」、「絵でわかる簡単漢字 80・160・200」等
※学習習慣定着のため、毎回宿題あり。

(2) 移行期クラス

- ・授業に参加するための学習言語を獲得し、授業や教科書が理解できるように教科学習支援を行う。教科そのものを教えるのではなく、教科書を日本語の中・上級のテキストと捉え、読んで理解できるようにする。そのために、教科特有の専門用語や表現をかみ砕いた簡単な日本語で説明したり、教科書にある太字の重要語句を読めたりできるように指導する。
- ・「1年→総合」、「2年生→国・数・英」、「3年→国・数・英・社・理」の3グループに分かれて、各クラス、

週1回以上通級。

対象者 生活言語はほぼ習得しているが、学習言語が十分ではないために、学校の授業についていけない中学生。

目標 4技能のうち、特に「読む」「書く」の能力を、教科の勉強を通して伸ばす。最終的には高校進学を目指す。

期間 本人の希望による。

主な使用教材：学校の教科書、教科書準拠のワークブック、市販の問題集等

(3) その他のクラス（正式なものではなく、あくまでも個々に応じて検討）

対象者 初級クラス修了者で希望者がいるとき

① 添削クラス（部活動等が忙しく、意欲のある学習者）

教材：教科書準拠のワークブック等

② 自習クラス（様々な事情で家庭学習が困難な学習者）

教材：各自持参